

岩屋緑地に親しむ会 会報

令和5(2023)年10月1日発行 第90号

編集・発行
岩屋緑地に親しむ会
広報・連絡委員会

「令和5年度総会」開催 役員の一部改選、終了後自然観察会も



令和5年5月21日(日)午前9時から岩屋緑地休憩所において令和5年度の「岩屋緑地に親しむ会」総会が開催された。

総会に先立ってミーティングが行われ令和5年6月

に森北浩司と柴田俊二が。会計は柴田章雄が再任。書記は新たに森下砂稚子と森祥剛が再任。会計監査には新たに吉田只男の各氏が指名され承認された。5



の活動予定が配られ詳細説明が行われた。その後受付と総会資料が配られ、会場作りが行われた。出席したのは会員23名と市役所から2名。

9時30分、市川副会長の司会と議長で総会が始まる。冒頭、会員である根本衆院議員から挨拶があり「CO₂削減には森の緑化が有効、必要が叫ばれる前から取り組んでいる会に敬意を表すると」述べられた。会長挨拶は西川会長から。市役所挨拶は公園緑地課夏目泰裕専門員と石田宗久担当から。

1号議案の活動報告は森書記から。コロナが弱まり活動日数は前年並み。参加人数は1日平均13名が14名に増えた。業者



による枯木伐採が有ったため森での作業が減りさくら広場の草刈り作業が増えた。2号議案の決算報告は柴田会計から説明。3号議案の会計監査は外山会計監査欠席されるも承認

署名があり拍手で承認。4号議案の役員選出は先ず西川会長の再任が決められた。役員は会長からの指名で。副会長には新た

に森北浩司と柴田俊二が。会計は柴田章雄が再任。書記は新たに森下砂稚子と森祥剛が再任。会計監査には新たに吉田只男の各氏が指名され承認された。5号議案の活動計画は西川会長が説明。旧チッパーの修理完了、他への貸し出しの可否について意見交換された。納会の餅つきや年度末交流会の会食の再開が提案され承認された。6号議案の来年度予算は柴田会計から説明。20周年記念事業費の組み入れや予備費について質問。自主作業の草刈り等に何らかの謝礼の出費が提案され、拍手で承認された。7号議案のその他は提案無く総会を終了する。

終了後に市の担当者から情報として、冒険岩の修理

計画、岩屋緑地休憩所等管理委託業務、令和5年度伐採木販売スケジュールが報告された。新役員の写真撮影と全員での写真撮影が行われた。

会場片付けなどが行われた後、自然観察会が行われ、休憩所周辺から池周辺、「四季ときめきの森」へと歩いて樹木の観察が行われた。12時過ぎに終わる。



【写真左上：挨拶される根本良典議員、写真右上：市役所の夏目専門員と石田さんの挨拶、写真中央：令和5(2023)年度の役員さん、写真左下：総会風景、写真右下：自然観察会】